

名峰・富士に想いを寄せて 街行けば優しさ薫る

私の好きな 散歩道

富士見台駅
→商店街、住宅街
約1.4km
今回の散歩人

富田 啓子さん



お正月といえば、縁起の良い富士山。今回の「散歩道」は、かつては名峰がよく見えたという富士見台です。富士見台1丁目の書道教室の先生、富田啓子さんが散歩をしてくれました。

若いころから書道を学び、師範の免許を持っています。自宅では習字教室を開いています。生徒さんは子どもから大人まで。毛筆の仮名書道を中心に楷書や行書など基本六書体、硬筆、ペン字まで、富田さんの人柄と相まって生徒さんは楽しそうに学んでいます。

富士見台は、駅を中ば、深川伊勢屋・富士見台店(3)。正油焼きに住宅地が広がっています。駅北口は、下り坂になったのんびりとした商店街。おむすび、あさり弁当もありです。ちよつと旅に出たい気分ですね。富田さんは、いつも地元で買い物をしていきます。その駅前通りで、いろいろなお酒を取りそろえている大沢屋酒店(4)。にこやかな奥さんが、対応してくれました。富士見台は、戦前から、まごころ「紫水堂」(2)の看板。和菓子店です。おいしそうなおまんじゅうがいっぱい。おすすめは「きんつば」かな。書道教室では、生徒さんとお茶を飲みながら、おまんじゅうをいただくのも楽しみです。おいしいものと言え



→富田さんの散歩はいつも愛犬の「ももちゃん」と一緒。街で出会う人も、ももちゃんの愛らしさにはニッコリ。

ら開発された住宅地です。四季折々の富士山がよく見えたことから地名が付けられたようです。駅を中心に発展して便利になったものの、景観上、今では富士山を見るのが難しくなってきました。「でも、住んでいる人は、みんないい人ですよ。だから住みやすいんです」と富田さん。2009年は丑(うし)年。ゆっくりでもいいから、一步一步、確実に目標に向かっていきたいですね。

↑「きょうのおかずは、なんにしようかな」。新鮮なネタばかりですよ。菊池水産の店員さんです。



↑「おいしいワインはどうですか」とにっこり。大沢屋酒店の奥さんです。



↑手づくりの和菓子店「紫水堂」。四季折々の味わいが評判です。

↑「この商店会は、戦後間もない昭和22年にできました」と話す鈴木さん。「歴史を感じますね」と富田さん



↑富士山がよく見えたことから名付けられたのでしょうか。今回のゴール地点は富士見公園。静かな住宅地にある小さな公園です。

↑富士見台駅南口の「ふじみ銀座」です。ごらんにもお店が並びます。

